

院内がん登録の統計の見方について

生存率について

がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年生存率集計報告書より、全集計施設(全体)と長野県がん診療連携拠点病院等の比較

集計部位：胃、大腸、肝、肺、女性乳房、子宮頸部、前立腺

5年生存率

がん患者さんの生存率は、がん患者さんの治療効果を判定する最も重要かつ客観的な指標です。部位(臓器)別生存率を比較する場合やがんの治療成績を表す指標として、5年生存率がよく用いられています。

実測生存率・相対生存率

実測生存率は、死因に関係なくすべての死亡を計算に含めた生存率で、がん以外の死因による死亡も含まれます。がん以外の死因で、死亡する可能性に強く影響しうる要因(性、年齢など)が異なる集団(都道府県等)で生存率を比較する場合には、がん以外の死因により死亡する確率が異なる影響を補正する必要があります。がんによる生命損失をみるために、がん以外の死因による影響を考慮して集計する方法が、**相対生存率**です。

参照：国立がん研究センター がん情報サービス がん統計の用語集
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/word/3.html

登録状況について

長野県がん診療連携協議会の収集データによる、長野県がん診療連携拠点病院等の2016-2018年の院内がん登録の施設別、部位別登録状況

※ 症例区分80 その他は除外

集計施設(略名)

長野市民病院(長野市民)、長野赤十字病院(長野日赤)、佐久医療センター(佐久センター)、信州大学医学部附属病院(信大病院)、相澤病院(相澤病院)、諏訪赤十字病院(諏訪日赤)、伊那中央病院(伊那中央)、飯田市立病院(飯田市立)、北信総合病院(北信総合)、信州上田医療センター(上田センター)、長野県立木曽病院(県立木曽)、北アルプス医療センターあづみ病院(安曇病院)

集計部位

大腸、前立腺、肺、乳房、胃、血液腫瘍、膀胱、膵、皮膚(悪性黒色腫を含む)、子宮頸、脳・中枢神経系、腎・他の尿路系、肝、食道、口腔・咽頭